

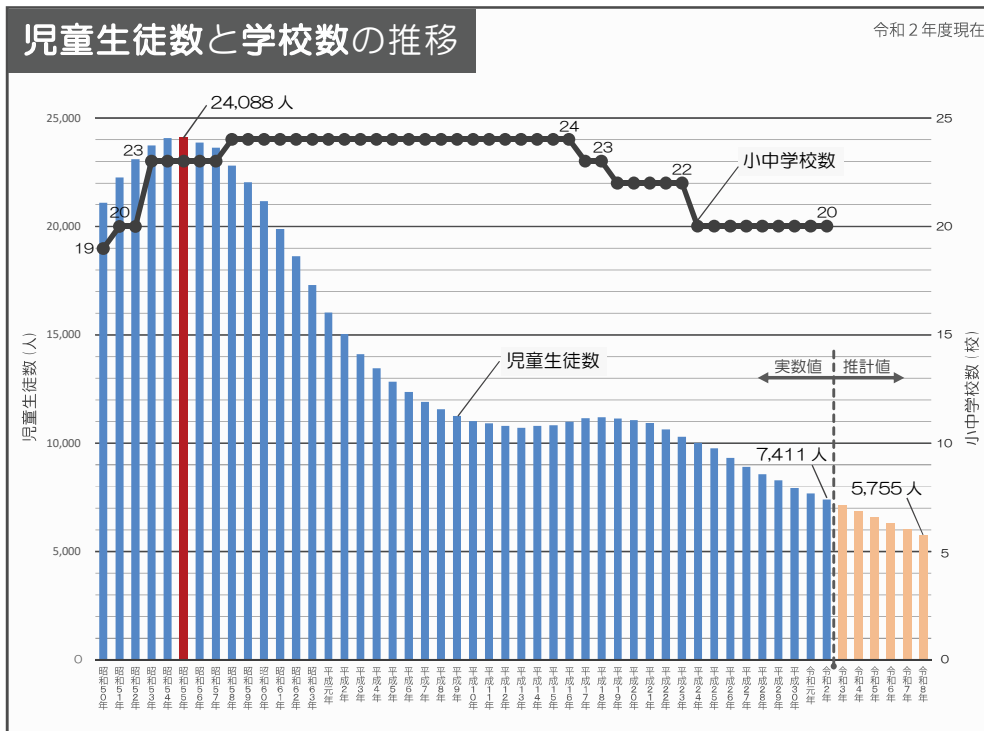
門真のめざす教育と
これからの学校づくり実施方針

令和3年3月
門真市教育委員会

策定目的

子どもたちを取り巻く環境や教育内容の変化への対応

- 目まぐるしく変化する現代社会の変化に対応し、課題に向き合い解決しようとする力を付けるために「主体的・対話的で深い学び」の視点を持った教育を行うことが重要です。
- 門真市の子ども人口は減少傾向で、いままでのような規模を維持した教育が難しくなっています。
- 高度経済成長期に造られた学校は、築40年以上経過しており、大規模な改修や建替が必要になってきています。



※令和2年度の児童生徒数は、最多であった昭和55年度の児童生徒数の1/3以下にまで減少している。

※小中学校の施設数は児童生徒数と共に増加しました。現在、小学校は14校、中学校は6校となっています。

実施方針

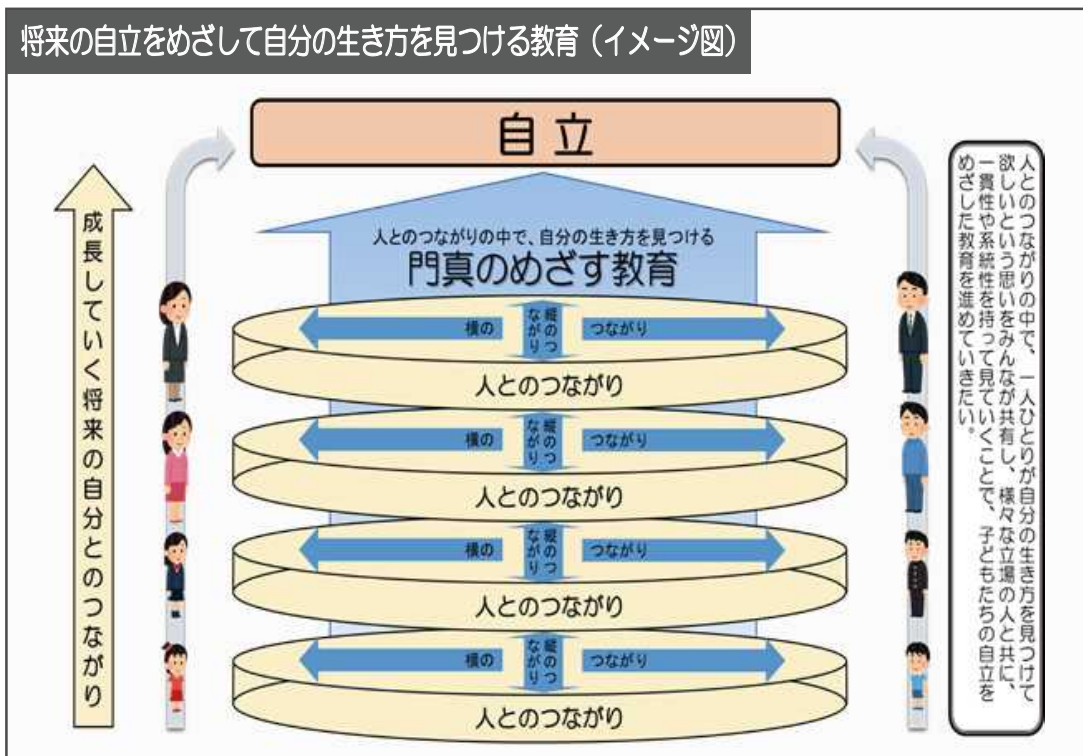
門真のまちづくりの核としての学校のあり方

- 門真市では『門真市第6次総合計画』を策定し、『人情味あふれる！笑いのたえないまち門真』をめざして、取り組みを進めています。
教育分野におきましては、人と人とのつながりの中で高い学びへの意欲と志を持ち、自分自身の手で自らの生き方を切り拓き、地域社会や他者のために貢献できるような「自立した人間」を育てることをめざして、次のような目標を掲げています。
 - ①すべての子どもが楽しく学び、力を育む学校教育が推進されているまちをつくります
 - ②心豊かでたくましい子どもをはぐくむまちをつくります
 - ③子どもたちが主体的に学び、安全で健康的な学校生活を送ることができるまちをつくります
- 地域の人々がつながる場として学校が機能し、地域の人々と子どもが学び合うことを通して、「信頼のネットワーク」を築きあげていくとともに、学校施設を改善し「こんな学校で学びたい」「こんな学校なら通いたい、通わせたい」と子どもや保護者に実感してもらえる学校づくり、地域の人々に誇りと愛着を持って積極的に参画してもらえるような学校づくりをめざします。
- 地域の人々と目標を共有して、地域と一体になって子どもたちを育てる「地域に学び、地域とともに歩む学校」を創り、「学校を核としたまちづくり」を推進することによって、地域全体、門真全体のブランド向上を図ります。

門真のめざす教育

★ 人との「つながり」

「縦のつながり」 を創る	異年齢、異学年、大人など 様々な年齢の人との関わり	→	優しさや包容力が 備わることを期待します
「横のつながり」 を創る	同学年、同級生、地域の人 保護者などとの関わり	→	人とつながる力を身に付けると共に学校と 地域と一緒に子どもの成長を見守ることが できることを期待します
「将来の自分とのつながり」 を創る	成長する過程における人との関わり そこから得た学びを成長段階に 応じて積み重ね、今と将来の自分とをつなげる	→	予測不可能な時代を自ら切り拓く力を身に つけるとともに、自立に向けて育っていく ことができることを期待します



門真のめざすこれからの学校づくり

- ★ 「人とのつながりの中で学び、育つ学校」 づくり
- ★ 「これからの時代、これからの門真に対応した学校」 づくり
- ★ 「快適で楽しく過ごせる場としての学校」 づくり

学校配置の方針

学校配置を検討するうえでの基本的な考え方

- 地域のコミュニティづくりの視点を踏まえた検討を行います
- 小中一貫教育を一層推進する学校運営のあり方の検討を行います
- 児童・生徒数の推移を考慮した検討を行います
- 通学距離を考慮した検討を行います
- これまでの学校分離の歴史や、再編の経緯を考慮した検討を行います
- 学校施設の老朽状況を踏まえた検討を行います

第四中学校校区の学校再編について

校区の現状

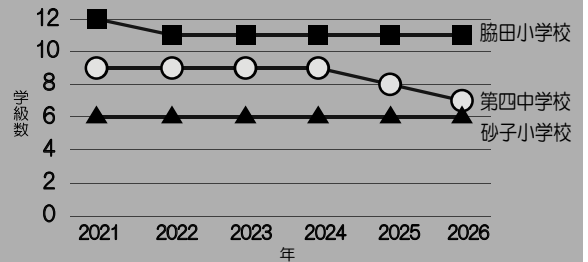
★ 人との「つながり」の観点

砂子小学校

- すでに全学年が単学級です

[縦のつながり] [横のつながり]
を創ることが難しい状況です

学級数の推移 (2021-2026年)



★ 「快適で楽しく過ごせる場としての学校づくり」の観点

脇田小学校

- 昭和47年に建設され、
築48年が経過しています

[改修や建替え]が必要となる
時期がきています

	建築年	経過年数	大規模改修工事
第四中学校	昭和48年	築47年	平成11・12年度
脇田小学校	昭和47年	築48年	—
砂子小学校	昭和51年	築44年	平成14・15年度

方向性

実施の内容

脇田小学校と第四中学校の敷地に、脇田小学校・砂子小学校・第四中学校を統合した、施設一体型の小中一貫校(義務教育学校)を設置します。

実施の時期

施設一体型の小中一貫校(義務教育学校)の校舎として、令和7年の完成をめざします。

実施に向けて

施設の機能・通学の安全・工事中の学校運営など、多くの検討が必要になるため、学校・保護者・地域の関係者等と一緒に、新しい学校づくりの検討を行う場を設けて、具体的な検討を進めます。

第五中学校校区の学校再編について

校区の現状

★ 人との「つながり」の観点

北巢本小学校

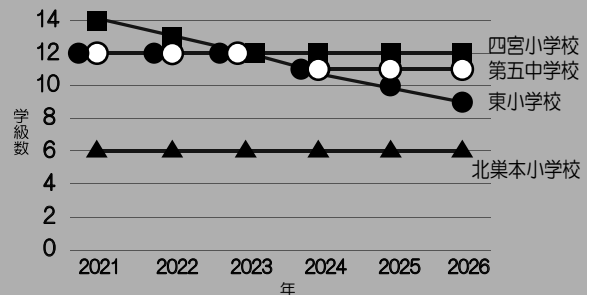
- すでに全学年が単学級です

東小学校

- 2つの中学校に分かれて進学する地区があります

[縦のつながり] [横のつながり]
を創ることが難しい状況です

学級数の推移 (2021-2026年)



★ 「快適で楽しく過ごせる場としての学校づくり」の観点

四宮小学校

- 昭和40年に建設され、築55年が経過しています

北巢本小学校

- 昭和49年に建設され、築46年が経過しています

[改修や建替え]の検討が必要な時期がきています

	建築年	経過年数	大規模改修工事
第五中学校	昭和48年	築47年	平成26・27年度
四宮小学校	昭和40年	築55年	—
北巢本小学校	昭和49年	築46年	—
東小学校	昭和58年	築37年	—

方向性①

実施の内容

改修や建替えに合わせて、**四宮小学校と北巢本小学校を統合し、「門真のめざすこれからの学校づくり」に対応した小学校を設置します。**

実施の時期

第四中学校校区における小中一貫校(義務教育学校)の完成後に、整備着手し、**令和9年に校舎の完成をめざします。**

実施に向けて

施設の整備については、多くの検討が必要になるため、**第四中学校校区の進捗に合わせ、地域の関係者等と一緒に学校づくりの検討を行う場を設けて、具体的な検討を進めます。**

方向性②

実施の内容

東小学校から2つの中学校に分かれて進学する現状について、**現在の子どもたちや地域のつながりを踏まえ、東小学校・保護者等・地域の関係者等の意見を伺いながら検討していきます。**

実施の時期

現在の子どもたちや地域のつながり、通学の課題等を含めた検討が必要となることから、**東小学校・保護者等・地域の関係者等の意見を伺いながら検討を進めていきます。**

実施に向けて

東小学校から2つの中学校に分かれて進学する現状を検討するにあたり、**その際に必要な方策、調整が必要な期間等について検討するため、東小学校・保護者等・地域の関係者等と共に検討を行う場を設け、具体的な検討を進めていきます。**

その他の中学校校区の学校づくりに向けて

第二中学校校区

校区の現状

★ 人との「つながり」の観点

大和田小学校

- すでに単学級になっている学年があります

沖小学校

- 推計では、単学級が発生する見込みです

「縦のつながり」「横のつながり」
を創ることが難しい状況です

★ 「快適で楽しく過ごせる場としての学校づくり」の観点

大和田小学校

- 昭和40年に建設され、築55年が経過しています

上野口小学校

- 昭和46年に建設され、築49年が経過しています

第二中学校

- 昭和39年に建設され、築56年が経過しています

「改修や建替え」の検討が必要な
時期がきています

今後の方向性

- 児童生徒数や学級数の推移や施設の現状に加えて、校区内外の他の学校も含めて検討する必要があることから、「門真市学校適正配置事業実施方針（第4版）」における、大和田小学校と上野口小学校の統合については、改めて再検討することとします。
- 第四中学校校区と第五中学校校区の再編に続けて、学校づくりを推進できるよう、令和7年までに改めて議論の場を設けて、今後の方針の検討を行います。

第三中学校校区・第七中学校校区・門真はすはな中学校校区

校区の現状

★ 人との「つながり」の観点

五月田小学校

- 現時点で6年生以外はすべて単学級です

古川橋小学校

- すでに単学級になっている学年があります

「縦のつながり」「横のつながり」
を創ることが難しい状況です

★ 「快適で楽しく過ごせる場としての学校づくり」の観点

門真小学校

- 昭和40年に建設され、築55年が経過しています

二島小学校

- 昭和48年に建設され、築47年が経過しています

古川橋小学校

- 昭和40年に建設され、築55年が経過しています

第三中学校

- 昭和44年に建設され、築51年が経過しています

第七中学校

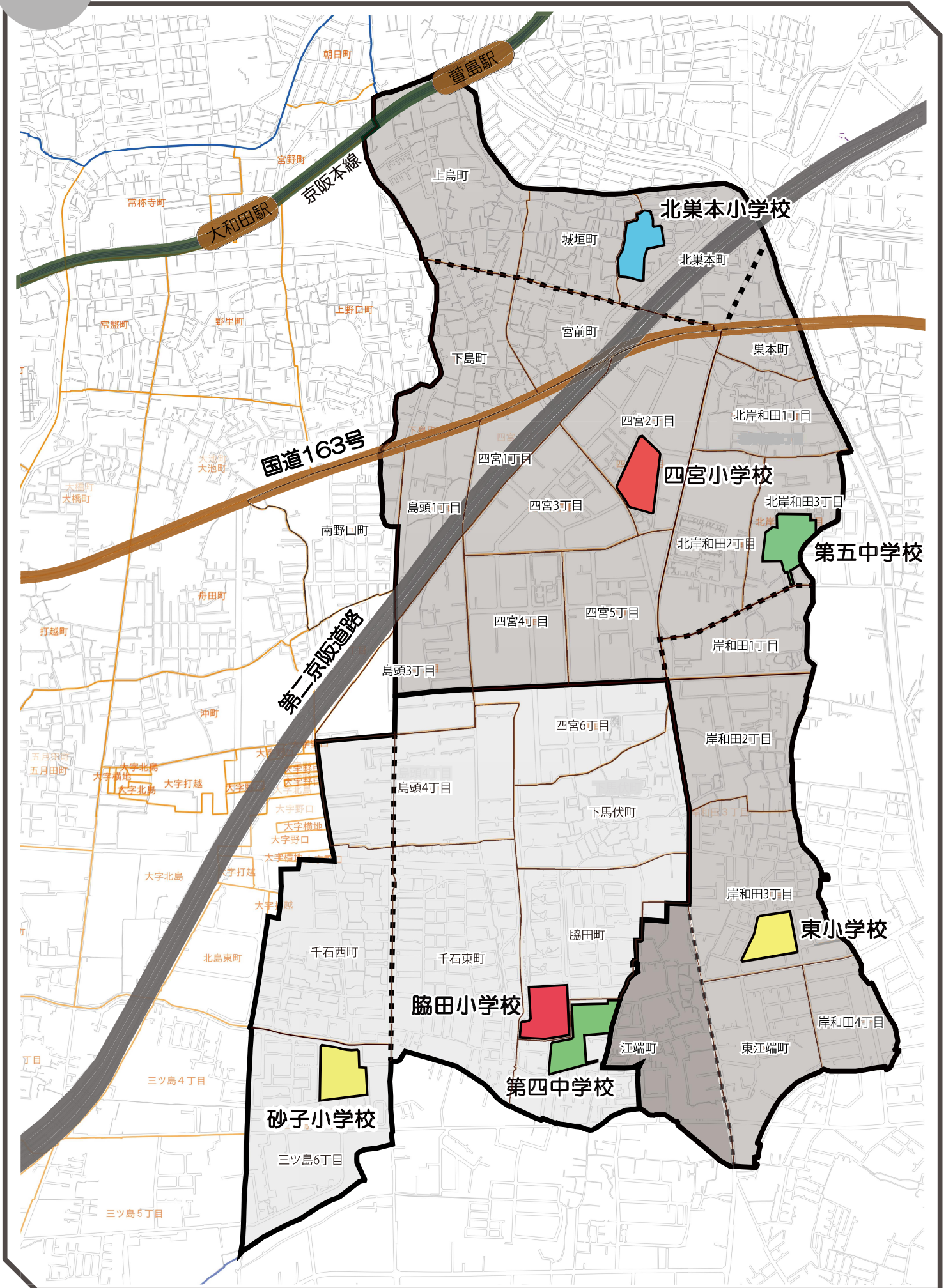
- 昭和53年に建設され、築42年が経過しています

「改修や建替え」の検討が必要な
時期がきています

今後の方向性

- 第三中学校校区では、大阪モノレールの延伸計画や企業の移転、門真はすはな中学校校区では、古川橋駅北の再開発等、新たな住宅供給等も含めた大規模なまちづくりの可能性が見込まれていることから、今後の校区内児童生徒数の推移に注視しながら検討を進めます。
- 第二中学校校区と同様に、門真市全域での学校づくりの検討を進めていくため、令和7年までに改めて議論の場を設けて、今後の方針の検討を行います。

小中学校の位置



※説明会の内容に対する意見受付フォームをご用意しておりますので、右のQRコードからアクセスしていただき、ご意見はそちらまでお願いいたします。

門真市教育委員会 教育部 教育企画課
電 話：06-6902-5779(直通)
F A X：06-6900-2323
メー ル：kyk02@city.kadoma.osaka.jp



意見受付フォーム
QRコード